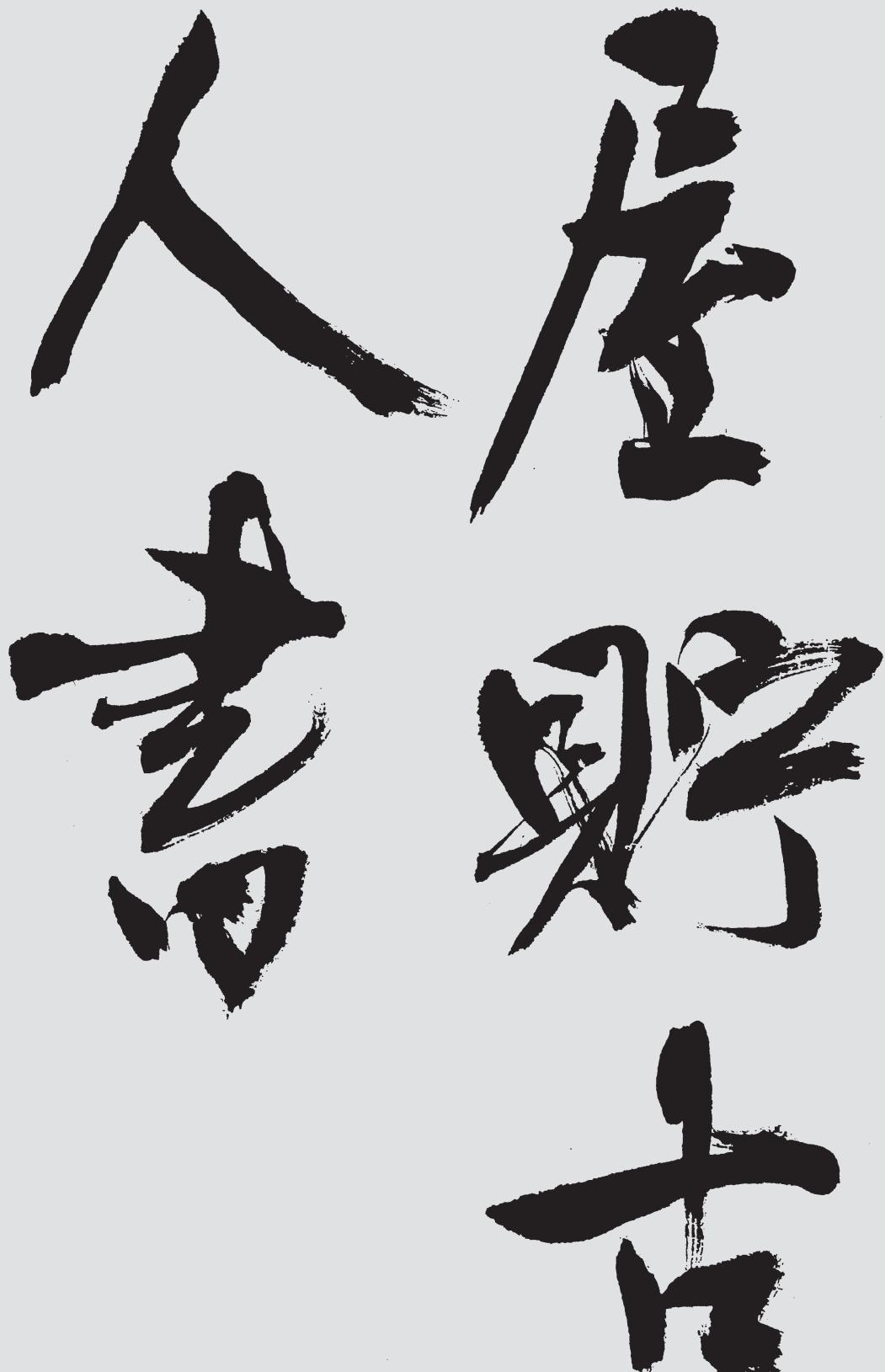


参考手本

※これは規定課題ではありません。

屋貯古人書



高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

屋貯古人書

屋
貯

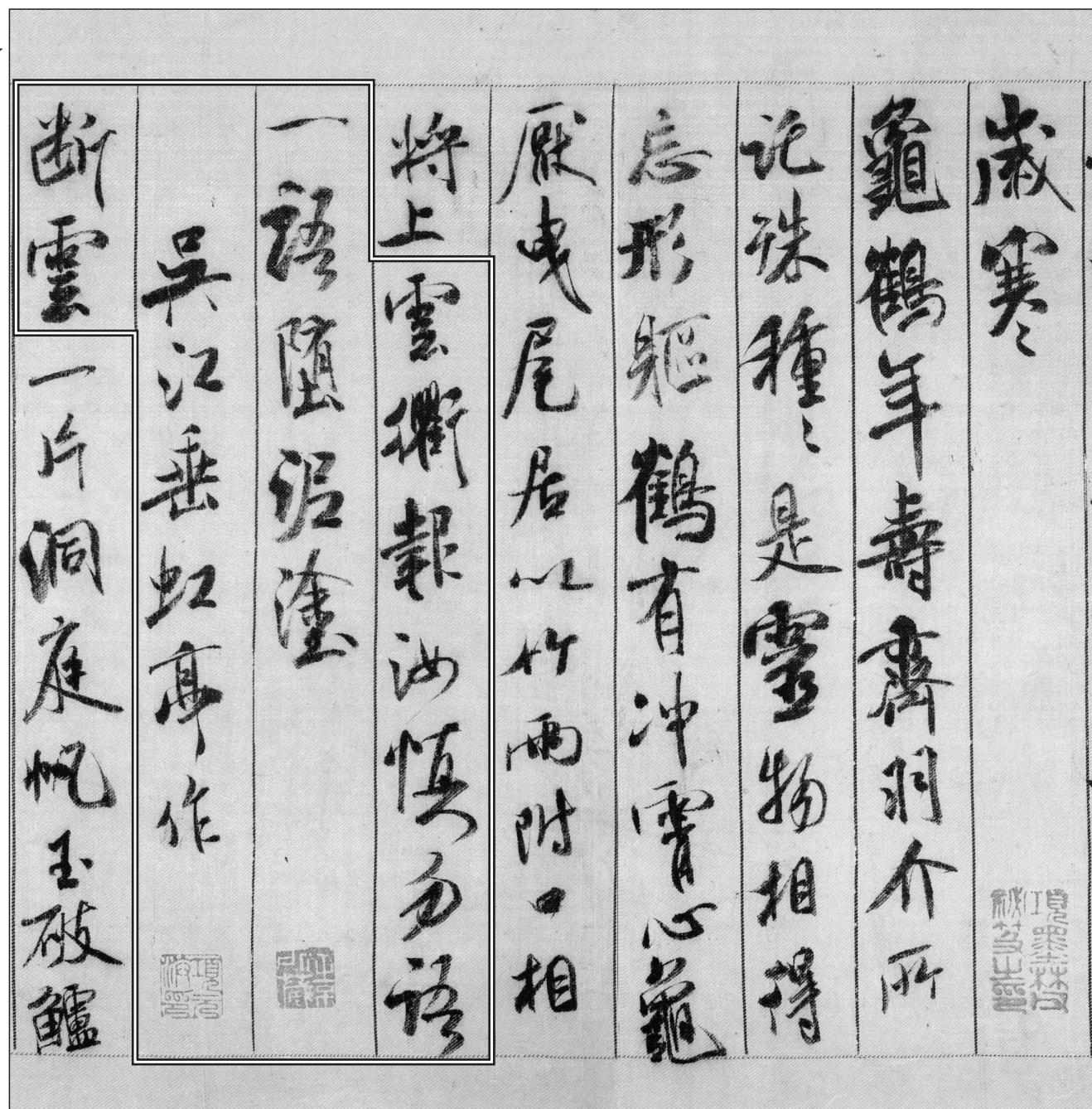
古
人

高
木
聖
雨

高 木 聖 雨 先 生

条幅規定

A部(準五段以上)
B部(四段～準三段)



歲寒

江東畫譜
蘇軾書

蜀素帖

米芾(宋)

(安得保) 岁寒。龜鵠年壽齊。

羽介所託殊。種種是靈物。

相得忘形軀。鶴有冲霄心。

龜厭曳尾居。以竹兩附口。

相將上雲衢。報汝慎勿語。

一語墮泥塗。

吳江垂虹亭作

斷雲一片洞庭帆玉破鱸

安んぞ歲寒を保つを得んや

龜鵠年壽齊しきも

羽介託する所殊なる

種々是れ靈物

相い得んや形軀を忘るるを

鶴には有り冲霄の心

龜は厭う曳尾の居

竹を以て両に口に附し

相い将いて雲衢に上る

汝に報ず慎んで語る勿かれ

一たび語れば泥塗に墮ちん

吳江垂虹亭の作

断雲一片洞庭の帆玉は鱸魚を破り

【今月の課題】

「雲衢。報汝慎勿語。一語墮泥塗。吳江垂虹亭作断雲」

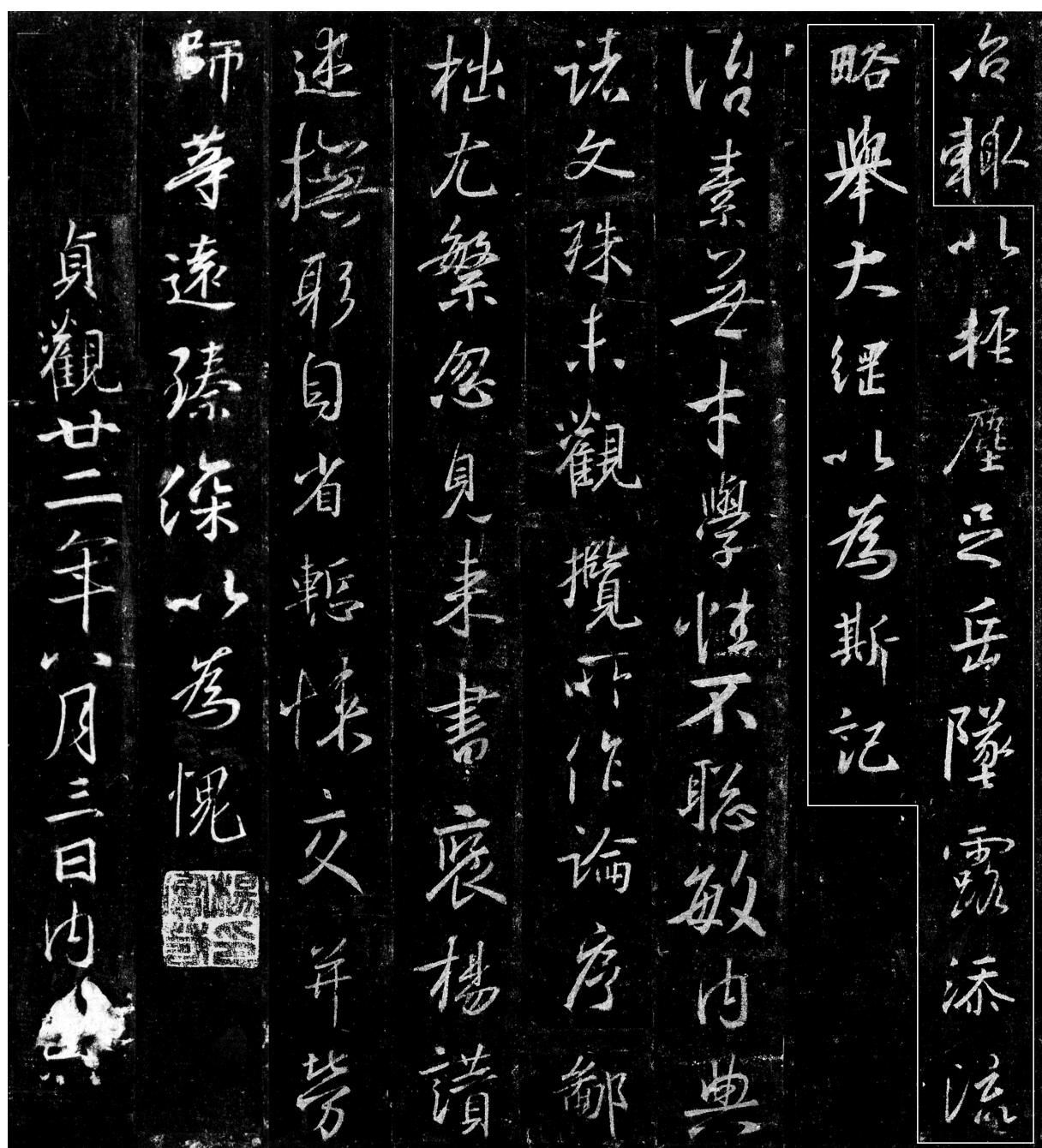
(20字)

(12月10日締切)

条幅規定

C部(二段以下)

『集字聖教序』 王羲之



治輒以輕塵足岳。墜露添流。略舉大綱。以爲斯記。治素無才學。性不聰敏。內典諸文。殊未觀攬。所作論序。鄙拙尤繁。忽見來書。褒揚讚述。撫躬自省。慚悚交并。勞師等遠臻。深以爲愧。貞觀廿二年八月三日內出。

治輒以輕塵足岳。墜露添流。略舉大綱。以爲斯記。治素乏才學。性不聰敏。內典諸文。殊未觀攬。所作論序。鄙拙尤繁。忽見來書。褒揚讚述。撫躬自省。慚悚交并。勞師等遠臻。深以爲愧。貞觀廿二年八月三日內出。

【今月の課題】

「以輕塵足岳。墜露添流。略舉大綱。以爲斯記。」

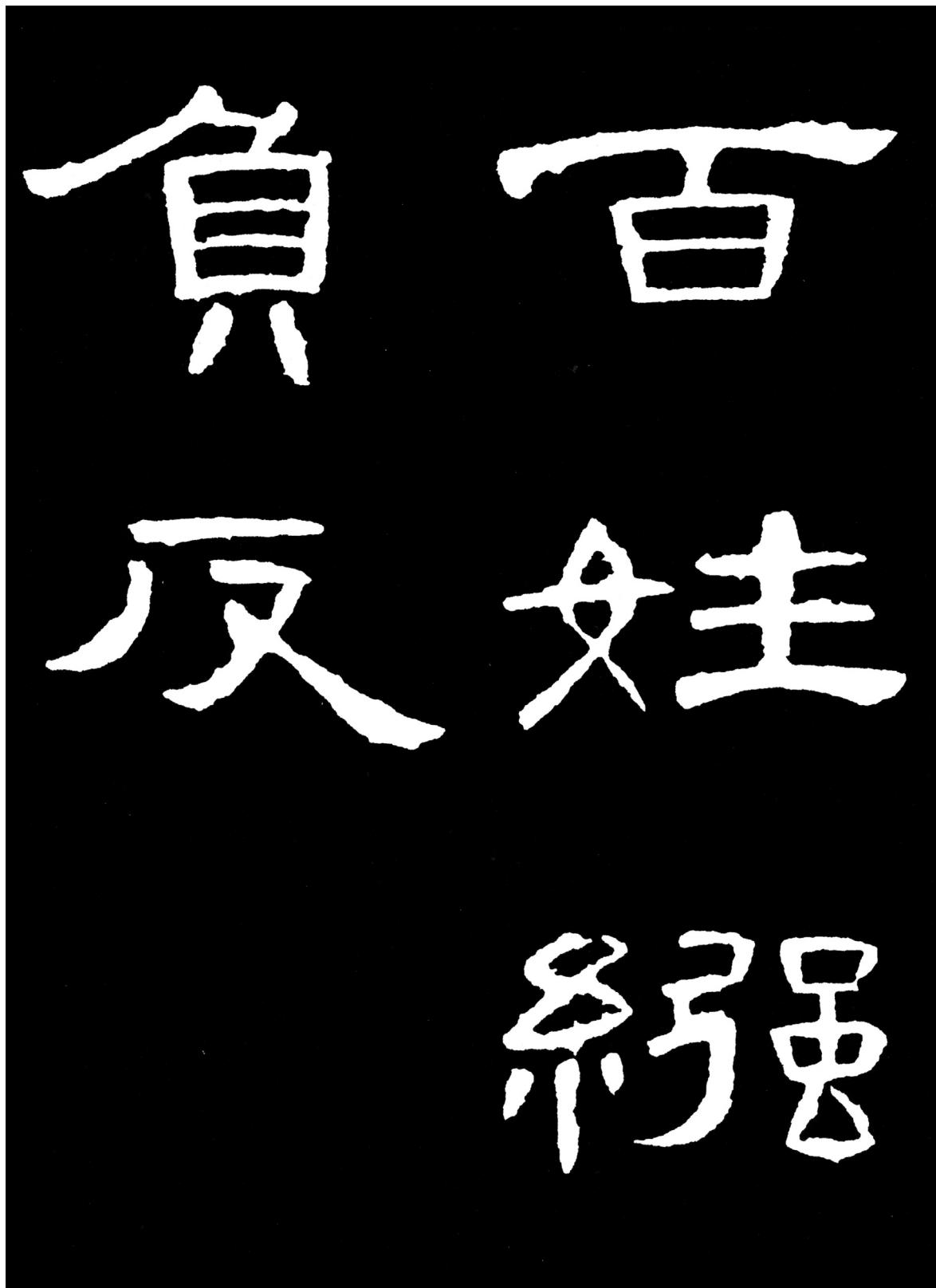
(17字)

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(12月10日締切)

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書　〔二級以下〕楷書

百姓縛負反

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(12月10日締切)

半紙規定(二)

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

因循何必改



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書　〔一級以下〕楷書

事因循を貴び、何ぞ必ずしも改めて

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(12月10日締切)

条幅参考本

下出義山先生

白鷺下秋水孤飛如墜霜心
閑且未去獨立沙洲傍

義山書

白鷺下秋水孤飛如墜霜心
閑且未去獨立沙洲傍

白鷺 秋水に下らんとし 孤飛すること霜を墜すが如し 心閑なれば且く未だ去らず 獨立つ沙洲の傍

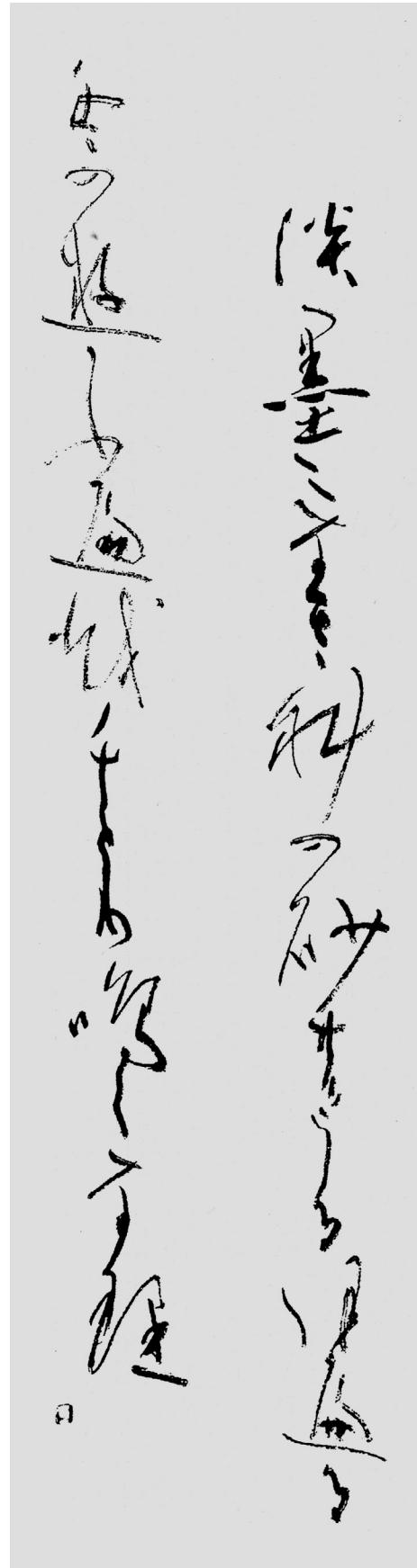
森 亜 希 子 先 生

一指海勝月四更人聽風猶龍
歌酒半 駕鶴戲簾中

一指海騰月 四更人聽風 猶龍歌酒半 駕鶴戲簾中
一指海は月を騰げ 四更人は風を聞く 猶龍は酒半に歌い 駕に鶴をして簾中に戯る

条幅かな

うす墨
二奈斜
農保遍
遊遍越
利鳴く奈理
(若山牧水)



※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

浮 乘 清 郷 先 生

条幅参考本

故園渺何處
歸思方悠哉
淮南秋雨夜
高齋聞雁來

故園渺として何の處ぞ
歸思方に悠なる哉
淮南秋雨の夜
高齋雁の来るを聞く



主幹 菅野翠濤

半紙かな(初段以上)

有明の海にござりに鴨あまたうかべり布船は島原に入れる(若山牧水)

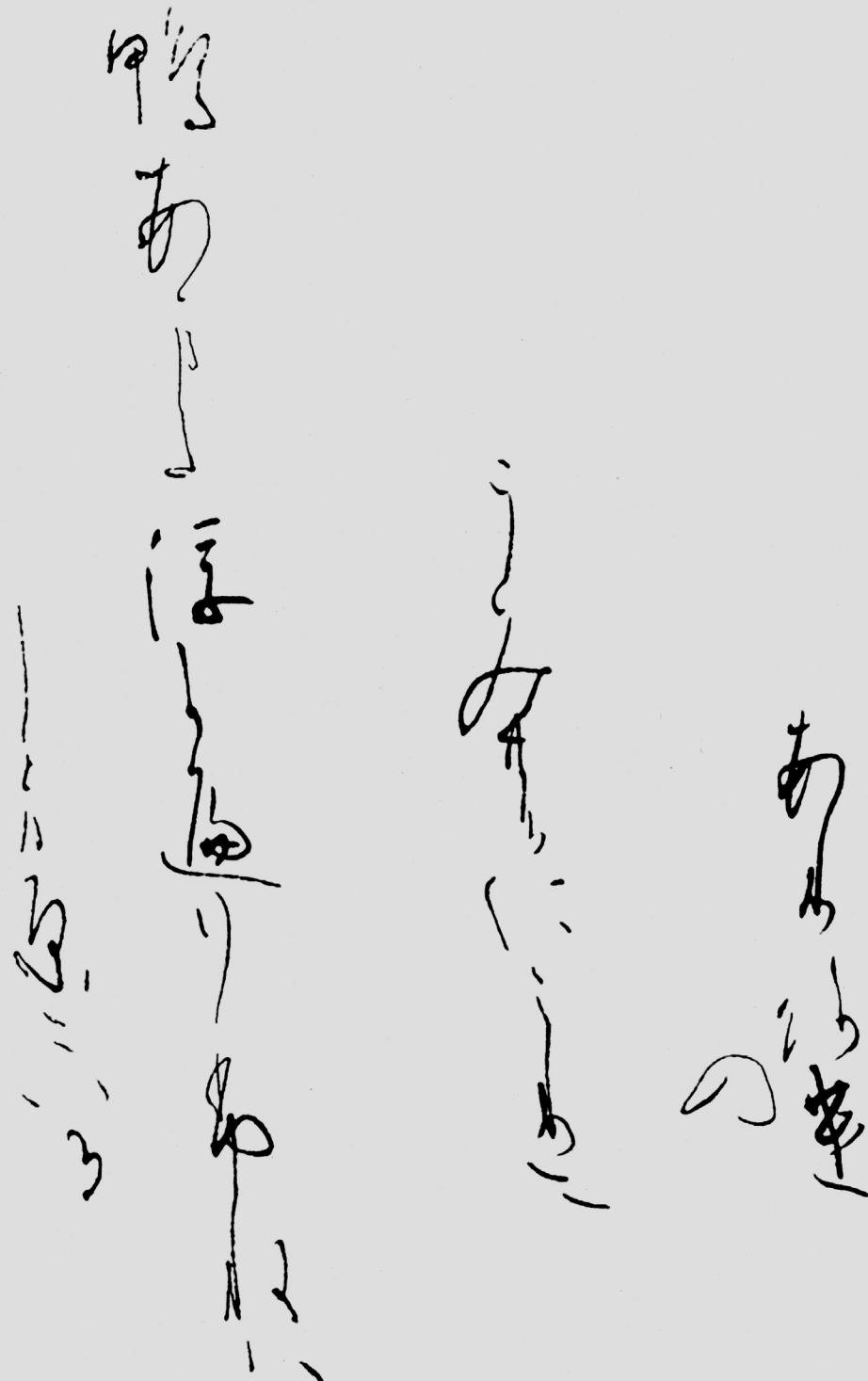
支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

一

二

三

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由



浮乘清郷先生

(12月10日締切)

半紙かな（1級以下）

初時雨硯
に影も走りけり
（加藤秋郎）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)



若月久美子先生

(12月10日締切)

实用文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

支那　あ級　姓　う

山には飛ぶ鳥の影が絶え、径には人の足跡が消えた。只一艘浮かぶ
小舟に蓑と笠の老人が獨り、この
雪の川で釣魚を垂れている。

主幹菅野翠濤

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」

P69

妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵
妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵
鯉 鮑 檀 谭 怪 龍 梅 淵
鯉 鮑 檀 谭 怪 龍 梅 淵
棲 檀 谭 谭 怪 龍 梅 淵
棲 檀 谭 谭 怪 龍 梅 淵
潭 谭 怪 龍 梅 淵 淵 淵
潭 谭 怪 龍 梅 淵 淵 淵
怪 龍 梅 淵 淵 淵 淵 淵
怪 龍 梅 淵 淵 淵 淵 淵
龍 梅 淵 淵 淵 淵 淵 淵
龍 梅 淵 淵 淵 淵 淵 淵
梅 淵 淵 淵 淵 淵 淵 淵
梅 淵 淵 淵 淵 淵 淵 淵

支部

段級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級以下は草書まで。初段以上は隸書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17
cm
(よこ)
×
24
cm
(たて)

棲妖

潭鯉

あやしい程大きな鯉。
深い水たまりにすむ。

淵えん
深い水たまりにする。

淵

深い水たまりにすむ。

硬筆（初段以上）

…黄色に…芽生えの頃の…葉も…瞬間に燃える…。

朝晩の気温がぐぐつと冷え込んで、木々が赤や黄にもに色づき始めた。昔生えのこの新緑の柔らかさもきらいだが、命の最後の瞬間に燃えるように色づく葉は息を飲む美しさだ。

支教名

私

姓子

青 柳 江 雲 先 生

(12月月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

ときめきを人に与えることは、その人
自身が感受性豊かな証拠である。

本院定型用紙・たて半分に書く

若月久美子先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

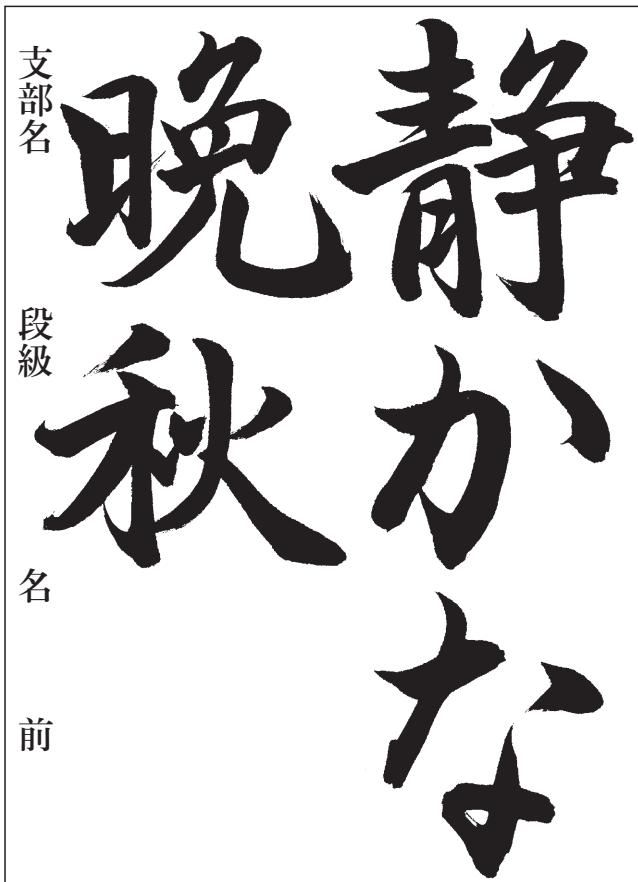
号

ときめきを人に与えることは、その人
自身が感受性豊かな証拠である。

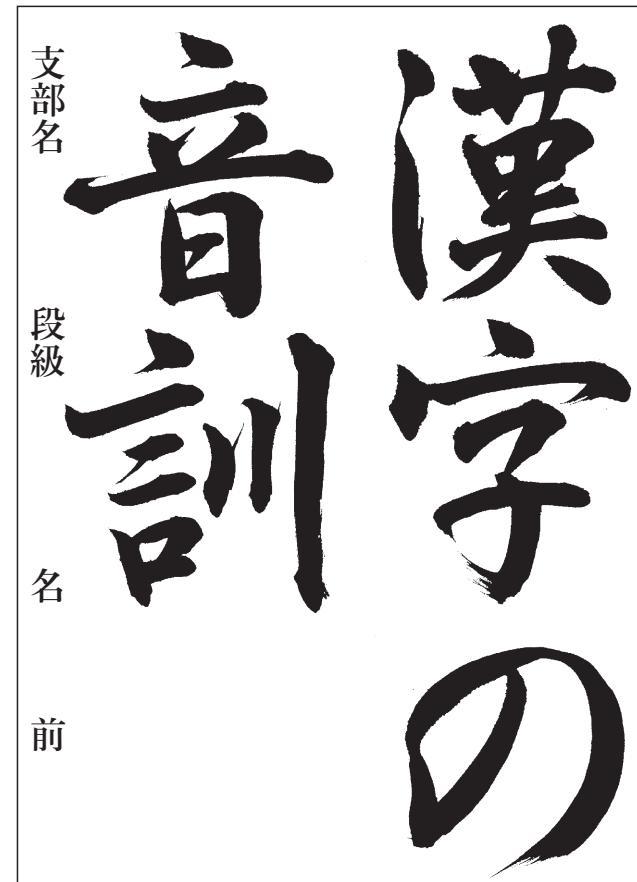
若月久美子先生

(12月10日締切)

中2用

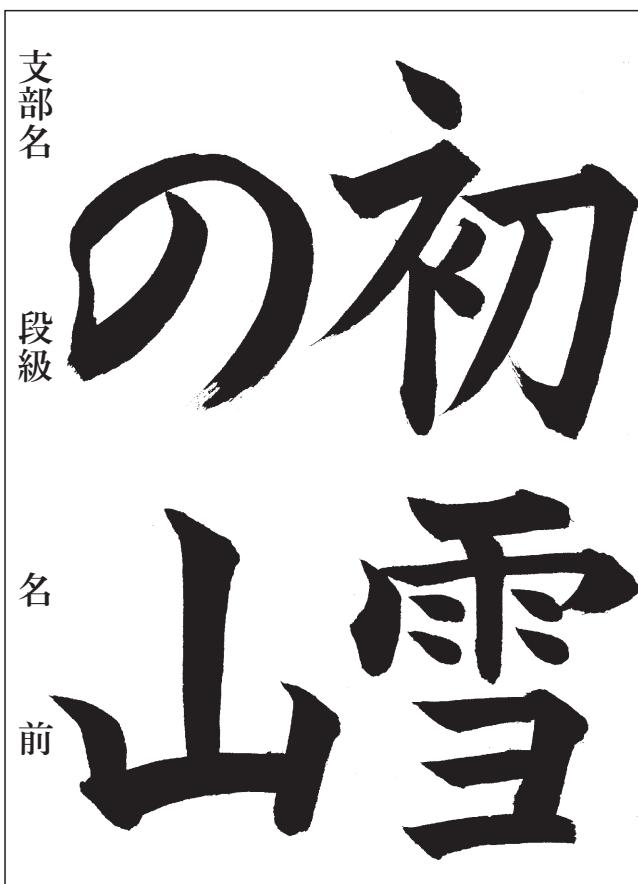


中3用

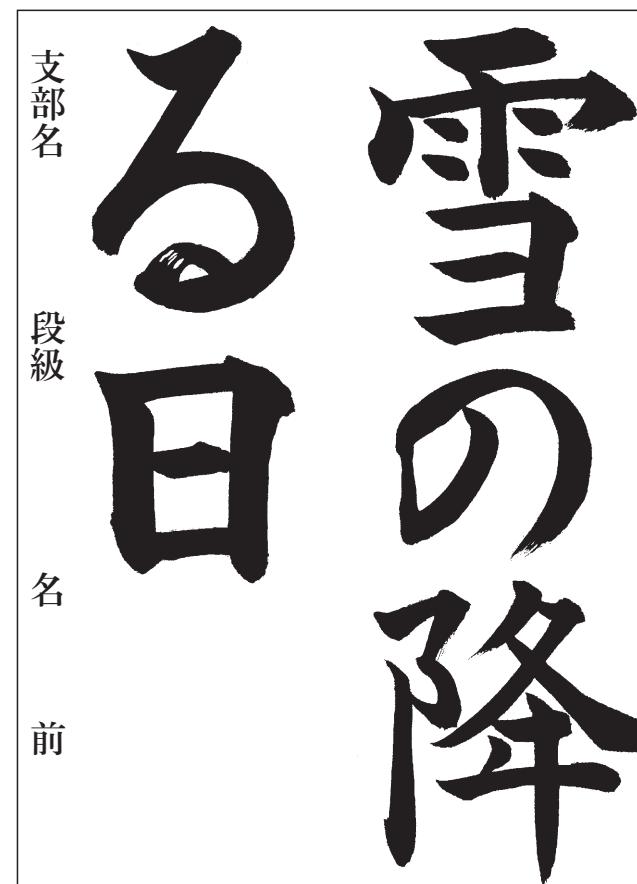


大 越 三 宗 先 生

小6用



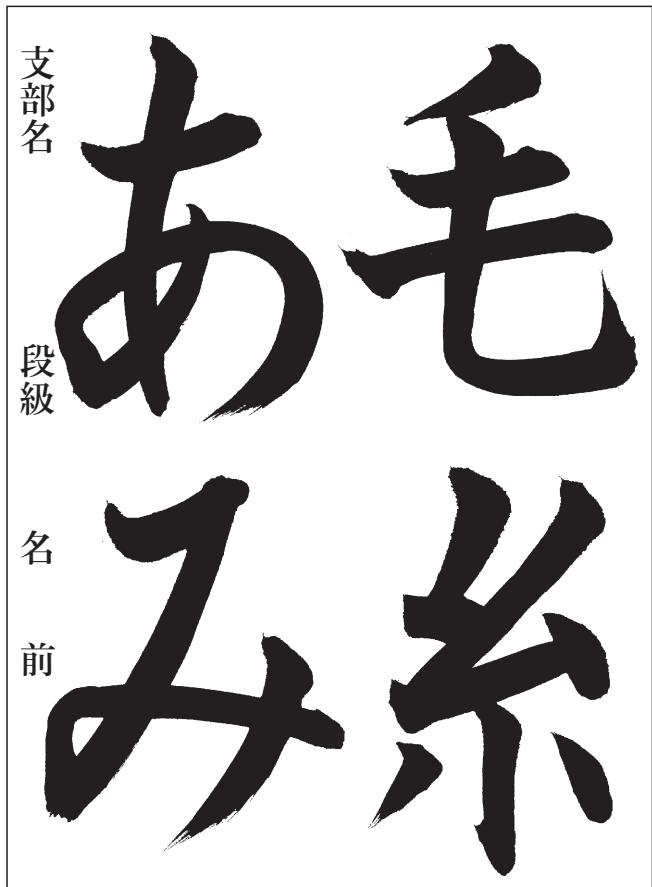
中1用



渡 邊 南 嶋 先 生

(12月10日締切)

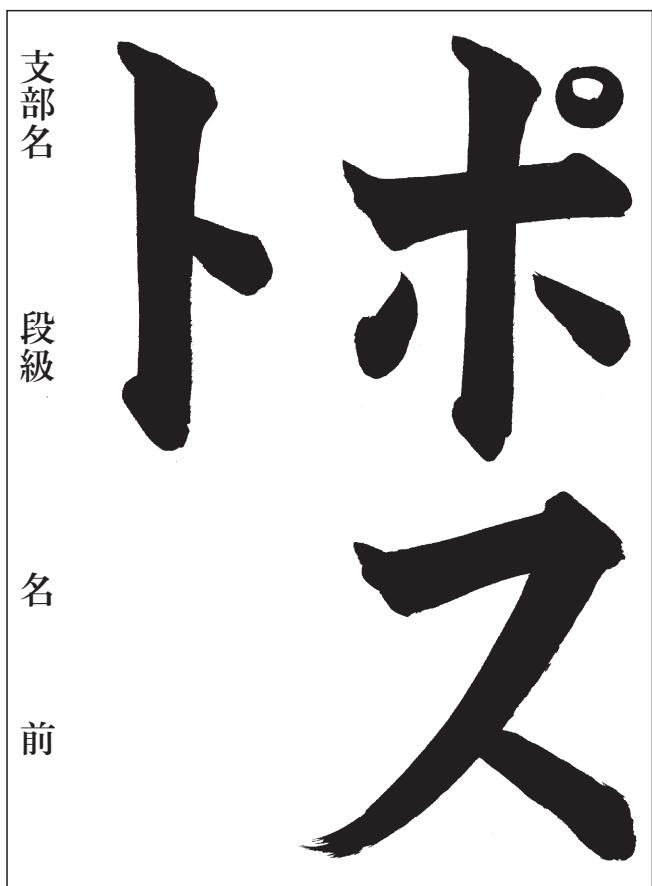
小4用



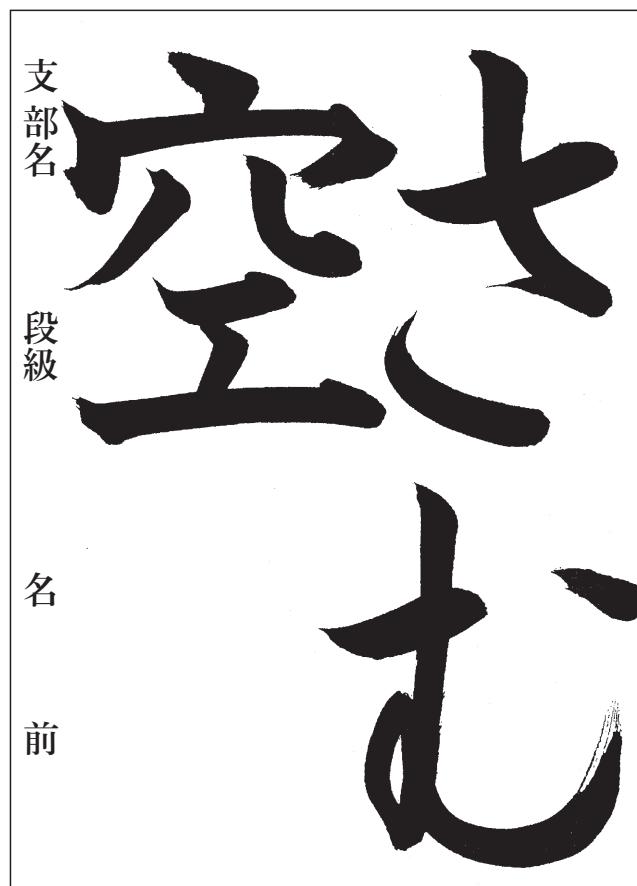
小5用



小2用



小3用



(12月10日締切)

中 1

情報化の時代にどう対処すべきかを考えよう。

中 2

優れた芸術は、時代をこえて愛され続ける。

中 3

自然を破壊しない科学の発達が望まれる。

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前



鈴木翡翠惠先生

小1・幼年

おじいちゃん、大きくなりたい。と空をとんでもいます。

小 2

大きなとりがゆうゆうと空をとんでもいます。

小 3

すてきな音楽は、こころよい気分になれる。

小 4

図書かんで、ゆっくりと本を読みたい。

小 5

新しい力ーで、部屋が明るく感じられた。

小 6

う点は火を使うことだ。人間が他の動物とちがう点は火を使うことだ。

小1～小3

齊 藤 翠 流 先 生

小4～小6

鈴木蕙翠先生

(12月10日締切)

小学部小筆課題

支部名 段級 名前

秋の空
わたり鳥飛ぶ

中学部かな課題

支部名 段級 名前

銀杏に
ちりばめの
空暮れに

船久保棠苑先生

半紙半分に書いて下さい (12月10日締切) 半紙半分に書いて下さい

漢字筆順表 (教育漢字)

討 討 (10画)	桐 桐 (10画)	桃 桃 (10画)	島 島 (10画)	唐 唐 (10画)	凍 凍 (10画)	倒 倒 (10画)	逃 逃 (9画)	到 到 (8画)	東 東 (8画)	豆 豆 (7画)	投 投 (7画)	當 當 (6画)	灯 灯 (6画)
二 三 言 討 討	一 十 木 札 札 桐 桐	一 十 木 札 札 桃 桃	一 十 木 札 札 島 島	一 广 戸 戸 唐 唐	ノ 江 江 江 江 江 江	ノ 仁 仁 仁 仁 仁 仁	ノ ヲ ル ル 逃 逃 逃	一 ニ ハ ハ 至 至 到 到	一 ハ ハ 申 東 東 東	一 ハ ハ 口 口 豆 豆 豆	一 ハ オ オ 扌 投 投 投	一 ハ ハ ハ ハ 当 当 当	一 ハ ハ ハ ハ 火 火 火 火 灯
筒 筒 (12画)	等 等 (12画)	答 答 (12画)	登 登 (12画)	痘 痘 (12画)	湯 湯 (12画)	棟 棟 (12画)	搭 搭 (12画)	塔 塔 (12画)	陶 陶 (11画)	盜 盜 (11画)	悼 悼 (11画)	党 党 (10画)	透 透 (10画)
ノ ハ ハ ハ 筒 筒 筒	ノ ハ ハ ハ 筒 筒 筒	ノ ハ ハ ハ 筒 筒 筒	ノ ハ ハ ハ 筒 筒 筒	ノ ハ ハ ハ 痘 痘 痘	ノ ハ ハ ハ 湯 湯 湯	一 十 木 札 札 棟 棟 棟	一 扌 扌 扌 扌 搭 搭 搭	一 十 木 札 札 塔 塔 塔	ノ ハ ハ 阴 阴 陶 陶 陶	シ シ シ 次 次 盜 盜 盜	ノ ハ ハ ハ ハ 悼 悼 悼	ノ ハ ハ ハ ハ 党 党 党	二 千 禾 禾 秀 秀 透 透

△と

参考手本

*これは規定課題ではありません。

しゅうせいじゅかん
秋聲樹間に満つ

樹林
間に
満つ

成瀬映山先生